

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSeprionによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米農務省からCWD、BSEに対する使用が承認されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイピーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD、vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040615-0080, 2004/6/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/6/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014)についてのコメント。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうることを示唆される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 529-531, 2004/08/27	スクレイピーを感染させたハムスターから採血し、ブールした全血450mlから市販のフィルターを用いて白血球除去した。白血球数は2.9log低下し、TSE感染因子総量の42%除去した。白血球除去フィルターは白血球由来の感染を防ぐには十分ではない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子 (PRNP) のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による6例のWNV感染が確認された。
											ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(8月1日～11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPはメチレンブルーで処理されている。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(8), 888-890	FFPにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
											インフルエンザ	WHO/GSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。
											HIV	Institute of Human Virology, 410-706-4816, 2004/6/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIVp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
											HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人供血者の血液は、HIV-NAT (HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
											HIV、C型肝炎	The New English Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが58件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medicin Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O, 2004.6	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス6例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウインドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	Hepatology, 2004,40(5), 1072-1077	カナダの血液透析センターにおいて血液透析を受けている成人患者における occult HBV有病率は、標準的なHBsAg検査が示唆するよりも約4~5倍高い。またウイルス量が少なく、sG145R変異体の保有率が高い。
											C型肝炎	臨床血液, 2004, 45(8) 280	NAT導入後に、輸血用製剤によってC型肝炎に感染したと疑われる症例1例。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O, 2004.6	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相同性を示した。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 583-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
											ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, 2004.4	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
											ウイルス感染	Department for Environment Food and Rural Affairs News, 2004/6/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。
											狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間でチャンディプラウイルスの急性脳炎の大流行が報告された。329例中183例が死亡し、塩基配列は1965年の株と98.7~97.5%の高い相同性を示した。
											デング熱ウイルス	Clinical Infectious Disease, 2004,39(8), e56-60	デング熱患者の血液飛沫を顔面に受けた医療従事者が、ウイルスに感染した。蚊を媒介とせず、皮膚粘膜を介して伝播したと考えられる最初の症例。
2004/12/15	40788	富士製薬工業株式会社	下垂体制性腺刺激ホルモン	下垂体制性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/15	40789	富士製薬工業株式会社	下垂体性腺刺激ホルモン	精製下垂体性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/15	40790	ワイス株式会社	ポルフィマーナトリウム	ポルフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/18	40791	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004: 203: 631-637	SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9ヶ所のうち、5ヶ所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染減のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004: 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											バベシア症	日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
											ウイルス感染	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血を受けたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうかは明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフエレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS, FDA/ 80th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting UK, 2003Feb	英国保健省が2004年9月に、vCJDを発症した患者からの血漿文面製剤を投与されたレシピエントへの通知を行ったことに関して、2003年2月のNet Norske Veritas(DNV)が行ったリスク評価の結果が根拠となっている。
2004/12/18	40792	株式会社ベネシス	ウロキナーゼ注射剤 ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有り	無し	無し	重症急性性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
											重症急性性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203: 631-637	SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染減のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004, 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											バベシア症	日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有の Babesia microti 様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
											ウイルス感染	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された (Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。
											クワイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血をうけたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうか明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフェレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クワイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子 (PRNP) のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS, FDA/ 80th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
											クワイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting UK, 2003Feb	英国保健省が2004年9月に、vCJDを発症した患者からの血漿文庫製剤を投与されたレシピエントへの通知を行ったことに関して、2003年2月のNet Norske Veritas(DNV)が行ったリスク評価の結果が根拠となっている。
2004/12/18	40793	株式会社ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人腎細胞	日本	有効成分	有り	無し	無し	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004; 203: 631-637	SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。
											クワイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所ですら約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染減のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											バベシア症	日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有の Babesia microti 様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
											ウイルス感染	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された (Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血を受けたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうか明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS, FDA/ 80th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting UK, 2003Feb	英国保健省が2004年9月に、vCJDを発症した患者からの血漿文庫製剤を投与されたレシピエントへの通知を行ったことに関して、2003年2月のNet Norske Veritas(DNV)が行ったリスク評価の結果が根拠となっている。
2004/12/16	40794	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	マウスモノクローナル抗体	マウス腹水	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/16	40795	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物	無し	無し	無し			
2004/12/16	40796	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	ベプトン	ウシ乳	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/16	40797	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/16	40798	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	不明(未販売)	製造工程	有り	無し	無し	E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血感染事例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/16	40799	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XⅢ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血管戦時例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。
2004/12/16	40800	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XⅢ因子	トロンピン	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血管戦時例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。
2004/12/16	40801	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XⅢ因子	血液凝固第XⅢ因子	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血管戦時例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。
2004/12/16	40802	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XⅢ因子	人フィブリノゲン	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血管戦時例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来 成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/20	40803	財団法人化学及 血清療法研究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物・製 造工程	有り	無し	無し	狂犬病	CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01	アメリカで、同一ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に關与していると思われる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											重症急性性呼吸器 症候群	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
											重症急性性呼吸器 症候群	Nature Medicine, 10(4), 388-373, 2004/04/01	オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウ イルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/GSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
2004/12/22	40804	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004, 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型型のスクレイパーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの關係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,674人を対象とした虫垂及び扁桃標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイピー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine, 10(6), 591-593, 2004 June について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSeprionによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD, BSEに対する使用が承認されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイピーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD, vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040615-0060, 2004/6/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/6/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014についてのコメント)。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうることを示唆される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMetic Life Sciences Inc., press release, 2004/08/03	血液及び血液由来製剤から選択的に病原体を吸着し除去するフィルター製品の上市を計画している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 529-531	スクレイピー感染したハムスターから採取した全血について、市販のフィルターによる白血球除去を行った結果、白血球除去率は2.9logであったが、感染血液のTSE感染性は42%の低下にとどまった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位138,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/10/24	アイルランドでvCJDに感染したと見られる20代男性について確認検査が行われている。輸血歴・渡航歴はない。アイルランドでは1例目。
											ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による8例のWNV感染が確認された。
											ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(8月1日～11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPIはメチレンブルーで処理されている。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(6), 886-890	FFPIにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											リユーシュマニア症	Transfusion of Medicine, 2004, 14(4), 319-321	リユーシュマニア症の流行国であるインドにおいて、2~3年間で6回の血小板輸血を受けた8歳の少年が、輸血によるリユーシュマニア感染症の疑いがあると診断された。
											HIV	Institute of Human Virology, 410-708-4618, 2004/6/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIV-24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
											HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人献血者の血液は、HIV-NAT (HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
											HIV、C型肝炎	The New English Journal of Medicine, 2004, 351(8), 780-788	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が15件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medicinal Virology, 2004, 74(2), 218-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O, 2004.6	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス8例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウィンドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。
											B型肝炎	Hepatology, 2004,40(5), 1072-1077	カナダの血液透析センターにおいて血液透析を受けている成人患者におけるoccult HBV有病率は、標準的なHBsAg検査が示唆するよりも約4~5倍高い。またウイルス量が少なく、sG145R変異体の保有率が高い。
											B型肝炎	ABC Newsletter, 2004/10/22	FDA血液製剤諮問委員会は、HBc抗体陽性者に対し、新たな検査方法を加え献血者のリエントリーを可能とするよう勧告した。
											C型肝炎	臨床血液, 2004, 45(8) 280	NAT導入後に、輸血用製剤によってC型肝炎に感染したと疑われる症例1例。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(8), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O, 2004.6	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。